

今から五十年程前の事を思い出しながらペンをとり、あの時は本当に若かったと、つくづく思う昨今であります。明大の短大経済科に入り、大学の女子寮は吉祥寺にあり、石川県から上京した私は本当に驚く事ばかりでした。吉祥寺から中央線に乗り、お茶の水駅に降り、それはもう大学生の多い事、クラブは学部の三、四年生と一緒に、私はまだその頃は向学心もあり経済事情研究クラブに入部しました。そこでももちろん勉強研究を兼ねたような合宿もあり、そこで歓迎会などビールもそれはもうしつこく飲む様勧められ、そのうちに松の木小唄も歌い皆の手拍子ももらって、これは本当に受けました。

女子寮生活は学部、短大を問わず三十人いたでしょうか。一年生の私は先輩に気遣いながらも最初は居心地が大変良かったです。皆地方から来て資格（司法関係等）を目指している人は化粧もなしで頑張っており、四年間の仕送りが少ないのか節約しバイトなどし、小銭を稼ぎながら勉学に励み、又素敵なボーイフレンドができたのか、みるみるきれいな女になっていくのがわかる人もいました。

バイトは、明大の方から又演劇部の人から東宝のエキストラなどあり、又地方の男子寮から交流会など、ダンスパーティーともなると、ここぞとばかりおしゃれをしたものでした。

二年生になると松尾憲きちゼミに入り、たまたまの流れで私がゼミ長になり、そのお陰で先生、先輩、学部の方の交流など、もちろんゼミ友達もでき、私は本当にみんなに支えられたと思っています。

大学、寮生活、又ゼミ活動、あのお茶の水界限には多くの思い出ができた学生生活でした。